

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平殿

報告日付:2015年10月10日

事業ID:2015247623

事業名:海洋体験事業「ウミゴミガメを探せ」
～帆船で海のゴミとウミガメ探しの冒険へ

団体名:特定非営利活動法人 Turtle Crew

代表者名:理事長 久米 満晴

TEL:0997-27-0050

FAX:0997-27-0050(手動切替)

事業完了日:2015年 9月30日

事業費総額	1,054,417	円 (収支計算書に記載する決算額)
自己負担額	214,417	円
助成金額	840,000	円 (千円未満は切り捨て)

事業内容:

○「ウミゴミガメを探せ」ツアーの実施

7/23, 27, 29 8/2, 3, 10, 29 計7回実施 9/28実施予定は悪天候により中止

参加加人数 合計68人 (子供)

○「海の学校 種子島」開催

8/23 午後1時～午後8:30

熊野海水浴場

参加人数 約30名

女性冒険家、今給黎教子さんを講師として招き、海で遊び、海から学ぶプログラム。

台風接近に伴い、熊野海水浴場のマングローブ林にて海洋体験 (カヤック・スタンダップパドルサーフィン等) を行い、夜は今給黎教子さんの講演会を開催。

事業目標の達成状況:

● ウミゴミガメを探せツアー

○帆船の操船を学び無人島へ

帆を上げエンジンを止めると、静かな風だけの世界。無人島を目指しみんなで操船し進むのは良い経験になったと思います。

○ウミガメを探せ

発見が少なかったのが残念でした。今年は全国的に産卵数が近年の約6割しかないというウミガメ界も驚く年であったことが影響していると思われます。

○海のゴミを探せ

フィリピン、台湾、中国、韓国、日本のゴミを発見しました。黒潮に乗って遠くから流れてくるゴミを、子供たちも実感したと思います。

※9/28に追加実施予定でしたが台風の影響により中止としました。

● 海の学校 種子島

鹿児島に上陸し大きな被害をもたらした台風の影響を受け開催が危ぶまれましたが、場所を安全なマングローブの川に変更し、楽しく実施できました。

ウミゴミガメ参加者や新聞折り込みなど広報活動を行いました。まさか台風が来ていて実施しないだろうと考えたのか、参加者は30名ほどと少なかったのですが、参加した子供たちはカヤック・スタンダップパドルサーフィンなど乗る時間が増え終始楽しかった様子でした。

又、今給黎先生の世界一周のお話は当時の映像をもとに進められとても興味深く、質問タイムには子供たちから沢山の手が上がっていました。

海の奥深くを知っている今給黎先生と楽しく遊び、海に夢を抱く。この海の学校のは今給黎先生のおかげで大成功となり、最後はみんなに「夢を持とう」と言って閉校しました。

その他

・今年には特に7月から台風がやってきて、常に台風が南海上にあるという、海洋体験には難しい年でした。荒天時プログラムへの変更や延期が相次ぎ、参加者やスタッフの調整などに苦労し、参加しなかったのに都合が合わない子供がいたことが残念でした。

・安全対策には万全を尽くし、擦り傷程度の怪我はありましたが、大きな怪我や事故はなく無事終わったことに安堵しています。

・救命胴衣の安心安全性をあらためて実感しました。泳げる子供は潜りたいので脱ぎたがりでしたが、団体行動なので許可しませんでした。しかし、ウミゴミガメ以外で海遊びするときなど、救命胴衣を着用していない時にも海の危険は迫ってきます。今後はそんな対処ができるようなプログラムも必要かと感じました。

・参加した子供の多くが移住者の子供だった、というのが少し残念な結果でした。これは島生まれの親御さんが海に興味を持っていないこと、海を危険なところとしてしか認識していないこと、の表れではないかと考えます。また、「子供を海に連れ出すことを知らない人には任せられない」という厳しい意見もありました。今後の課題として、受け止めたと思います。

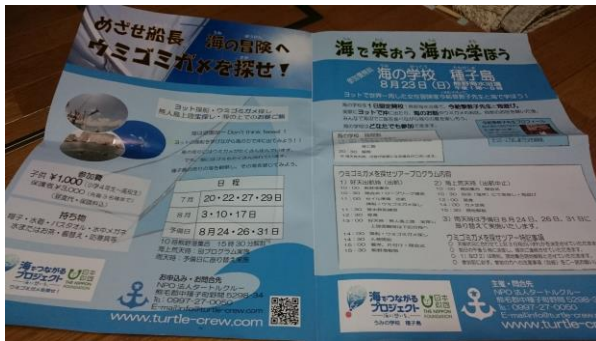
告知・宣伝を新聞の折り込み広告やポスターチラシ、フェイスブックやブログで行い、1日1000円で昼食付きで子供の海洋体験ができるので、申し込みが殺到すると予想していましたが、実際はそれほどでもありませんでした。

告知・宣伝のポスターに魅力がなかったのか、子供に向けたチラシがあったほうがよかったのか、海を危険な場所と考える親御さんが多いのか、といろいろ考えられます。

来年度の告知・宣伝に生かしたいと思います。

事業成果物:

印刷物: 募集用ポスター、募集用広告



活動報告冊子 (入稿中)



機器等購入: スタンダップパドル×2艇、同左用パドル×5本



シュノーケルセット×5セット、救命胴衣×10着



収支計算書
(2015年7月1日から2015年9月30日まで)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	受入済額	未調達額	備考
日本財団助成金収入	870,000	840,000	870,000	△30,000	
自己負担	220,000	214,417	214,417		
収入合計	1,090,000	1,054,417	1,084,417	△30,000	

支出の部

科目	予算額	決算額	支出済額	未払額	備考
人件費	260,000	260,000	230,000	30,000	
謝金	100,000	100,000	100,000		
旅費交通費	25,500	25,500	25,500		
消耗品、什器備品費	410,000	422,692	422,692		
印刷製本費	121,400	108,010	10,810	97,200	
会議費	4,000	4,195	4,195		
広告宣伝費	13,608	14,580	14,580		
事業管理費	35,000	35,000		35,000	
賃借料	60,000	60,000		60,000	
損害保険料	13,060	13,060	13,060		
事業費	47,432	11,380	11,380		
支出合計	1,090,000	1,054,417	832,217	222,200	